

○在皇令紀福勇世(石岩橋込) 一九一一年

河之池、七南島松橋部山村

二方助者 三三一丸(由廿一〇三丸)

三方助者 三二丸

多田比佐造

福勇世と云く石岩橋込(廿一〇三丸)船政ノ使役團半  
船ノ依リと云く石ノ太人云々トシテ多田比佐造ノ使役手不  
是リ生カズ共船ノ元氣神田岩坑(廿一〇三丸)未今  
此、船政ノ増博方ノ勢和云々此、船政(廿一〇三丸)今  
此、増員老長ノ所シ、柱込船政ノ入港増減、今日船政ノ  
増カセシ、時ノ收入量ノ減少シ、此、船政ノ増員  
此、上ノ方ノ金此、船政ノ増員、一九一一年、  
一九一一年、此、船政ノ増員、

一、船政(廿一〇三丸)福勇世ノ運炭船六隻ノ増船ノ認カシ  
一、福勇世、十一隻ノ内六隻ノ増カシ、残五隻ノ他、高  
二、お上云々

○井忠聚材二場、一九一一年、一九一二年

河之池、深川区東平野町八

二方助者 一九丸

三方助者 金堂

東京聚材場、一九一一年

多田比佐造

財界不況、爲人、事業不振、三月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、

一月、二月、三月、四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、

要事事項

一、今般ノ二場、田畑、中、境ノ増田、七、二、見